

コード	講師 *敬称略	タイトル
		概要
A	大前 吉史 (兵庫県立兵庫 高等学校 主幹 教諭,SGH 推進 委員長)	<p>未来社会を創造するグローバル・リーダー育成をめざして～「創造科学科」の実践～</p> <p>本校は、平成 28 年度に文理の枠を超えた学びを通じて、グローバルな社会における複雑で正解のない問題の解決に取り組む理数に関する学科である「創造科学科」(定員 40 名)を設置しました。それに先駆けて、平成 22 年度より普通科の「類型」や「コース」において学校設定教科「創造」を設け、国際機関、大学、行政機関、NPO 等と連携し、文理両方の課題研究に取り組んできました。教科「創造」の成果を普及するため、平成 27 年度より普通科においても各学年 40 名が課題研究に取り組んでいます。</p> <p>本分科会では、「創造科学科」の取り組みを中心とした探究学習を推進するためのカリキュラム、指導体制、外部連携の方法、年間指導計画および指導内容、評価、国内外の研修についての実践を詳しく説明します。</p> <p>最後に、生徒の変容、大学入試への対応等、探究学習を実施することにより得られた成果についてお話しします。</p>
B	笠原 正大 (暁星国際学園 ヨハネ研究の森 コース 主任研 究員)	<p>生徒と教員が「共に学ぶ」探究学習の実現に向けて</p> <p>設立 19 年目となる本校ヨハネ研究の森コースでは、学年・教科を超えて設定される「年間統一テーマ」のもと、コース所属の全生徒・全教員がひとつの課題研究に取り組んできました。</p> <p>本コースの大きな特色として、生徒と教員が同じ「学び手」として存在し、未知の世界を共に学ぼうとする「学びの共同体」としてのあり方が挙げられます。そして、この姿勢は、教員が「正しい知識」を「無知な生徒」に伝達するという従来型の発想とは、真逆の理解観・知識観に基づくものです。</p> <p>本分科会では、私たちの考える探究学習が、いわゆる「調べ学習」や「授業」と何が異なるのかを、今年度の実践例や資料のほか、稲盛経営哲学研究センター教育研究誌「RITA」および朝日新聞 GLOBE 誌での本コース特集内容などを交えながらご報告します。これからの時代に求められる探究学習をいかに構想すべきか、ご一緒にご検討いただければ幸いです。</p>
C	栗栖 裕 (横浜市立横浜 サイエンスフロ ンティア高等学 校 SSH・SGH 推進担当主幹教 諭)	<p>驚きと感動による知の探究 ～本校における課題研究の実践報告～</p> <p>本校は全クラス理数科(1 学年 6 クラス)の公立高校で、現在 SSH と SGH の両方の指定を受けています。1 年生は全員 SSH の課題探究授業「サイエンスリテラシー I」を履修するとともに、現代社会の授業の中で、SGH の課題探究活動である「グローバルスタディーズ I」を年 3 回受講します。また希望制のグローバルスタディーズ特別講座を、年 6 回放課後に実施しています。</p> <p>2 年生になると、生徒は全員「生命科学」「ナノテク材料科学・化学」「物性科学」「情報通信・数理」「天文・地球科学」「グローバルスタディーズ」の 6 分野(24 コース)のいずれかに所属し、約 1 年をかけて個人で課題研究に取り組みます。9 月の中間発表の後、その内容を 10 月のマレーシア海外研修で、全員が英語のポスター発表を行います。</p> <p>当日はこれらの取組内容について、もう少し詳しく説明していきます。1 年次 20 分、2 年次 20 分、質疑応答 20 分と考えています。</p>

D	<p>中西 雅子 (清教学園中・高等学校 教諭・グローバル教育運営委員会委員長)</p>	<p>学校図書館とeポートフォリオを活用した探究型学習</p> <p>本校は2015年度よりSGHアソシエイト校として活動し、その一貫として探究型授業Global Studiesを全生徒対象(1学年400名)に開講しました。本分科会では、実践の反省を活かしてどのような指導を行っているか、主に2つの取組についてお話します。1点目は学校図書館の活用について。担当初年度の生徒の様子から、情報収集に課題を見出しました。インプットの不確かさはアウトプットにも影響を及ぼすと考え、教材づくりや生徒の資料探し支援を図書館司書と連携して行っています。2点目はeポートフォリオの活用について。大学入試との関連でeポートフォリオに注目が集まっていますが、生徒の学びの向上という本来の目的を重視し、探究型学習と絡めた活用法を模索しています。</p> <p>上記の2点を中心に、GS全体のデザイン作りや指導体制、今後に向けての取組についても触れる予定です。質疑応答も交えながら、一緒に探究学習作りについてお話できればと思っております。</p>
---	--	--